

(報道発表資料)

2025年 7月 18日

公立大学法人 北九州市立大学
NTT西日本株式会社 北九州支店

北九州市立大学とNTT西日本が産学連携にむけた協定を締結 ～産学共同で実践的教育を進め、ビジネス課題解決能力の育成とデジタル人材を創出～

公立大学法人 北九州市立大学（学長：柳井 雅人、以下「北九州市立大学」）とNTT西日本株式会社（北九州支店長：鬼丸 有正、以下、NTT西日本）は、互いの特性を活かし幅広い分野で相互に協力することにより、地域社会の人材育成と地域活性化に寄与することを目的とした産学連携協定を2025年7月9日に締結しました。

北九州市立大学が2027年4月に開設予定である新学部「情報イノベーション学部（仮称・設置構想中）」において、協働で教育を行い、情報工学の先端技術を駆使する高度人材、GX推進や地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材の創出をめざします。

1. 連携に基づき今後推進する取組

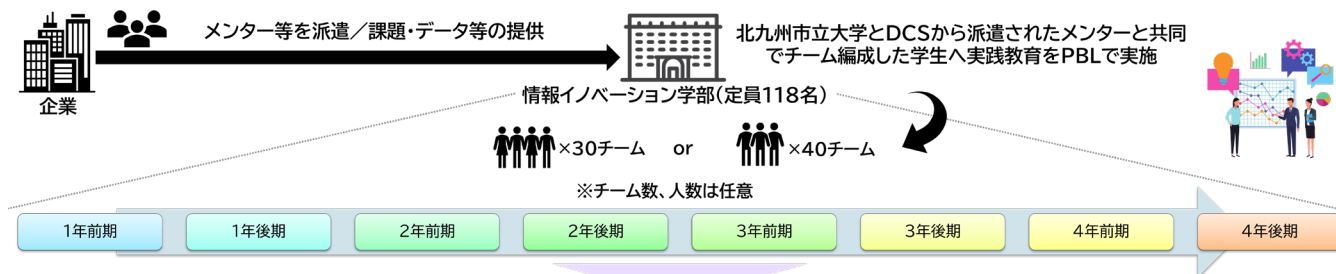
北九州市立大学は、デジタル人材需要の高まりを受け、2027年4月に「情報イノベーション学部」を新設します。この新学部では、実社会が求める即戦力人材を養成するため、市内企業と連携し、実際のビジネスにおける課題解決能力を身につけるべく、より実践的な教育を展開します。

NTT西日本は、地域のお客さまやパートナーの皆さまと共創し、デジタルを活用して地域を取り巻くさまざまな課題の解決を推進してきました。

今回の連携協定においては、NTT西日本がこれまで培ってきた課題解決ノウハウを活用し、新学部において課題解決型学習（PBL：Project Based Learning）を支援する講師・メンターの派遣や産学協働での地域課題解決等を実施することで、地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材の創出と地域の経済発展に貢献します。

【産学協働での PBL イメージ】

- 本学教員と派遣された企業のメンターが協働でファシリテートを行い、学生が自己主導型で問題や問い、仮設などの立て方、問題解決に関する思考力や協働学修等の能力や態度を身に付けることを目的とするPBL(Project-Based-Learning)を実施
- 学生はテーマに応じてチームを編成し、チームで協力しながら、エビデンスに基づき提供された課題の解決策を発案。
学生各人が自分事として捉えた主体的な学修活動を4年間一貫通貫で実施



情報工学の先端技術を駆使する高度人材・GX推進や地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材を輩出

2. 産学連携協定締結式の模様について

- (1) 日時 2025年7月9日(木) 11時～
- (2) 実施場所 北九州市立大学 北方キャンパス 厚生会館2階カンファレンスルーム
- (3) 署 名 者 北九州市立大学 学長 柳井 雅人 様
 N T T西日本 北九州支店長 鬼丸 有正



右：北九州市立大学 学長 柳井 雅人 様

左：N T T西日本 北九州支店長 鬼丸 有正

※ ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください
ともに、ご注意をお願いいたします